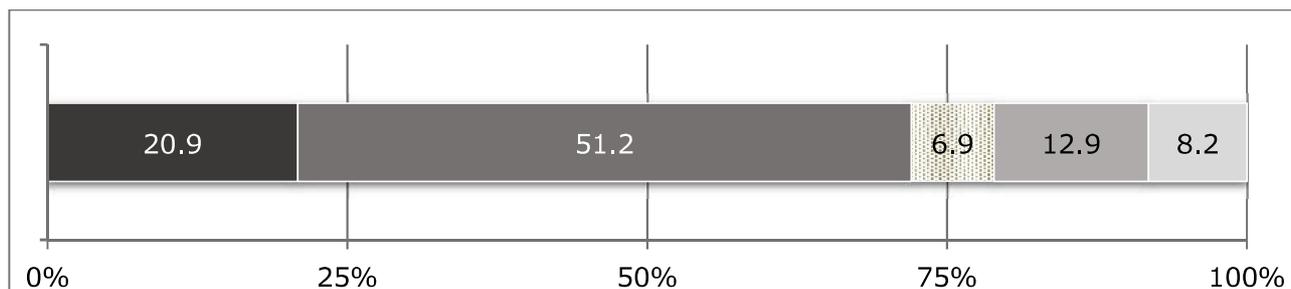


第2章 主要な設問に関する調査結果

1 生活満足度

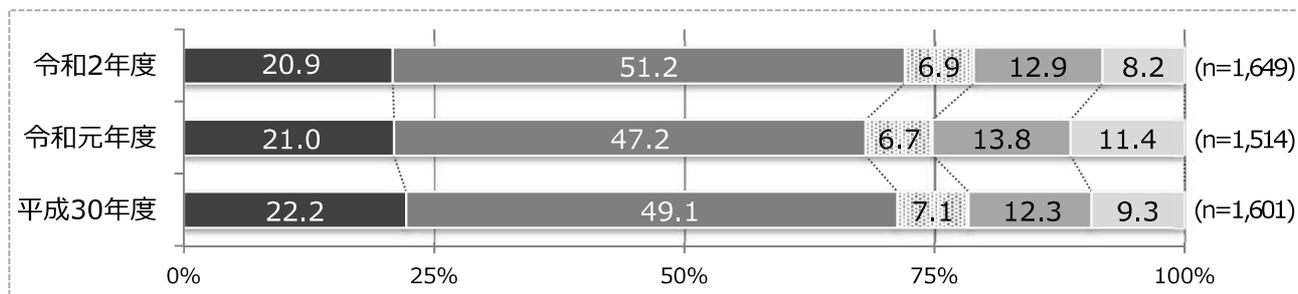
設問 1 現在の生活に満足していますか。 n=1,649

■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ▨ どちらともいえない ■ どちらかといえば満足していない ■ 満足していない



生活満足度については、「満足している」(20.9%)、「どちらかといえば満足している」(51.2%)と回答した割合の合計が 72.1%となった。一方で「満足していない」(8.2%)、「どちらかといえば満足していない」(12.9%)と回答した割合の合計は 21.1%となった。

平成30年度、令和元年度調査結果との比較



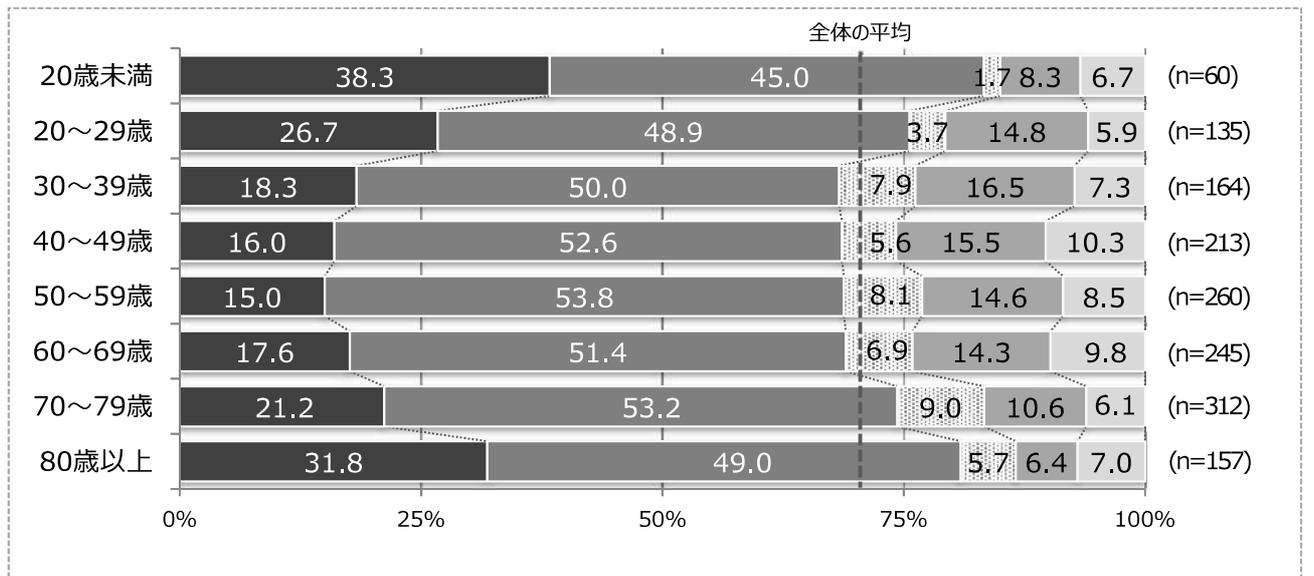
過去の調査結果と比較すると、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計(72.1%)は、平成30年度(71.3%)、令和元年度(68.2%)より増加した。

男女別構成とのクロス集計 n=1,533



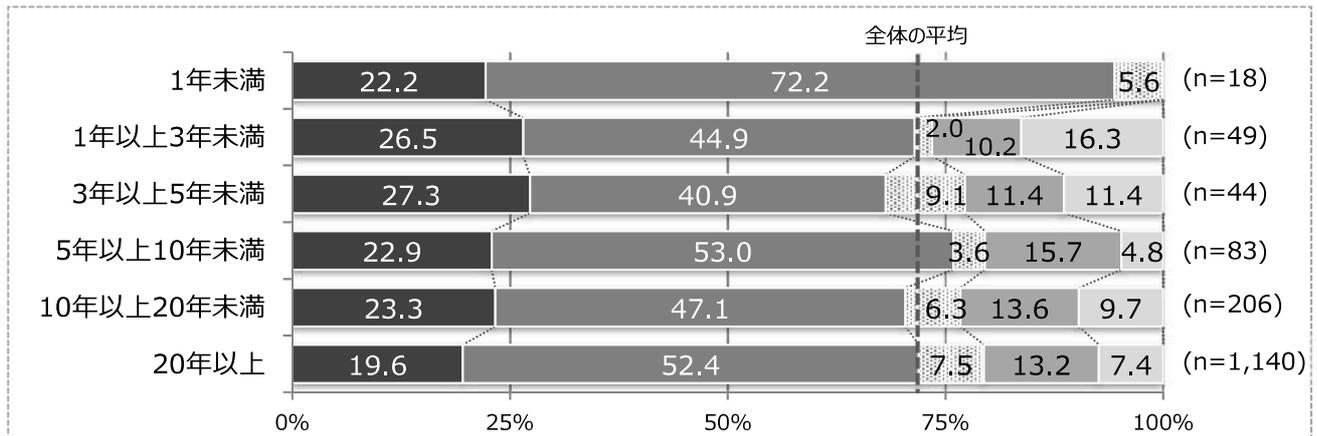
男女別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(75.2%)が「男性」(67.6%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,546



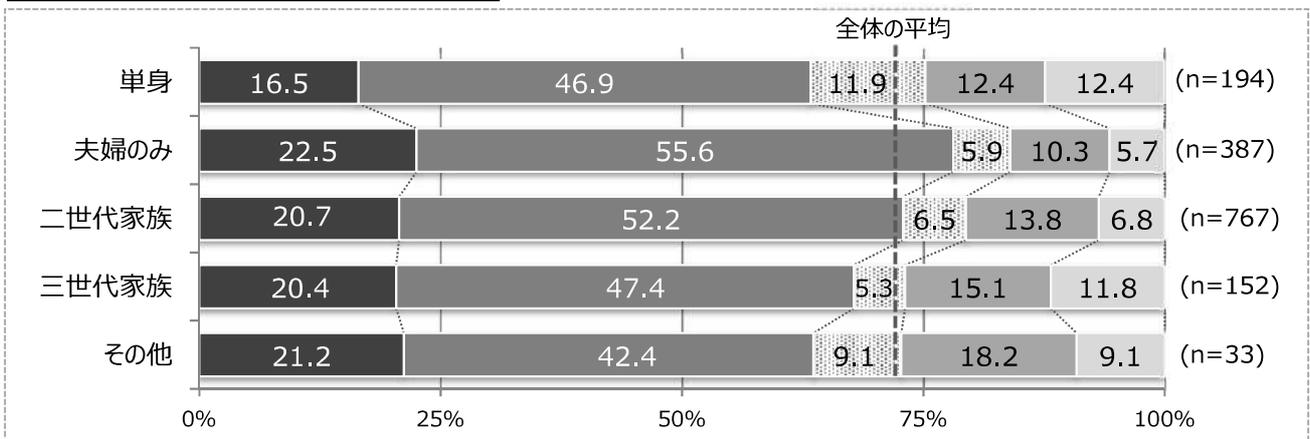
年齢階層別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(72.1%)と比較すると、「20歳未満」(83.3%)が平均を大きく上回り、「80歳以上」(80.8%)、「20～29歳」(75.6%)、「70～79歳」(74.4%)でも平均を上回った。一方で「30～39歳」(68.3%)、「40～49歳」(68.6%)、「50～59歳」(68.8%)、「60～69歳」(69.0%)では平均を下回った。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,540



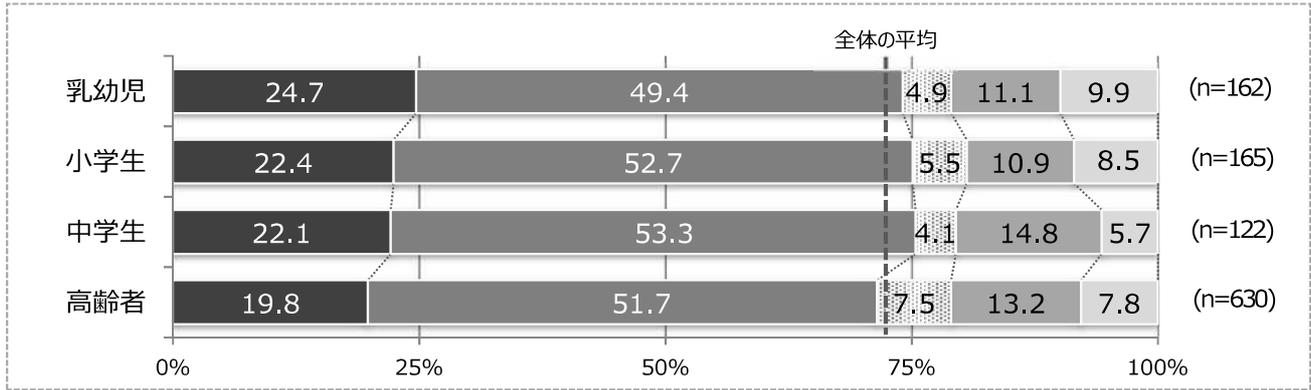
居住年数別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(72.1%)と比較すると、「1年未満」(94.4%)が平均を大きく上回り、「5年以上10年未満」(75.9%)でも平均を上回った。一方で「3年以上5年未満」(68.2%)、「10年以上20年未満」(70.4%)、「1年以上3年未満」(71.4%)、「20年以上」(72.0%)では平均を下回る、または近似した値となった。

家族構成とのクロス集計 n=1,533



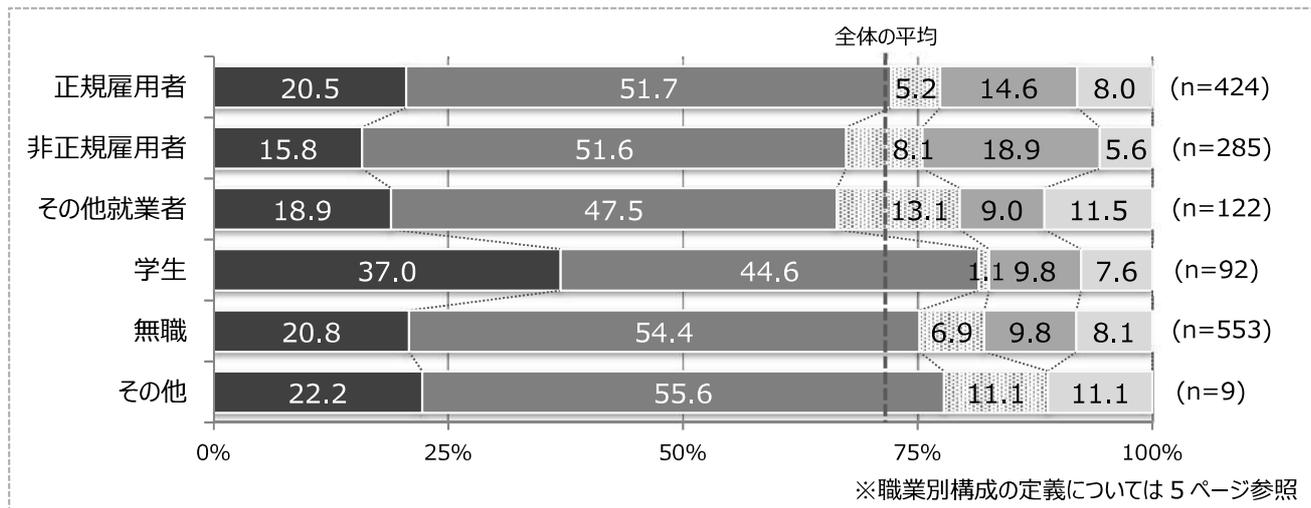
同居家族別(「その他」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(72.1%)と比較すると、「夫婦のみ」(78.1%)、「二世世代家族」(72.9%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「単身」(63.4%)、「三世世代家族」(67.8%)では平均を下回った。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



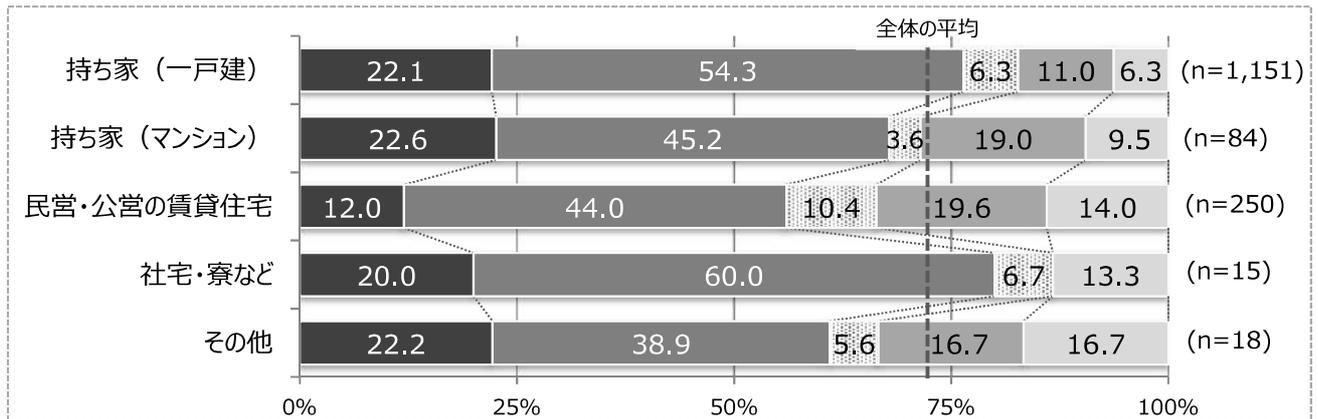
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(72.1%)と比較すると、「中学生」のいる世帯(75.4%)、「小学生」のいる世帯(75.1%)、「乳幼児」のいる世帯(74.1%)が平均を上回った。一方で「高齢者」のいる世帯(71.5%)では平均と近似した値となった。

職業別構成とのクロス集計 n=1,485



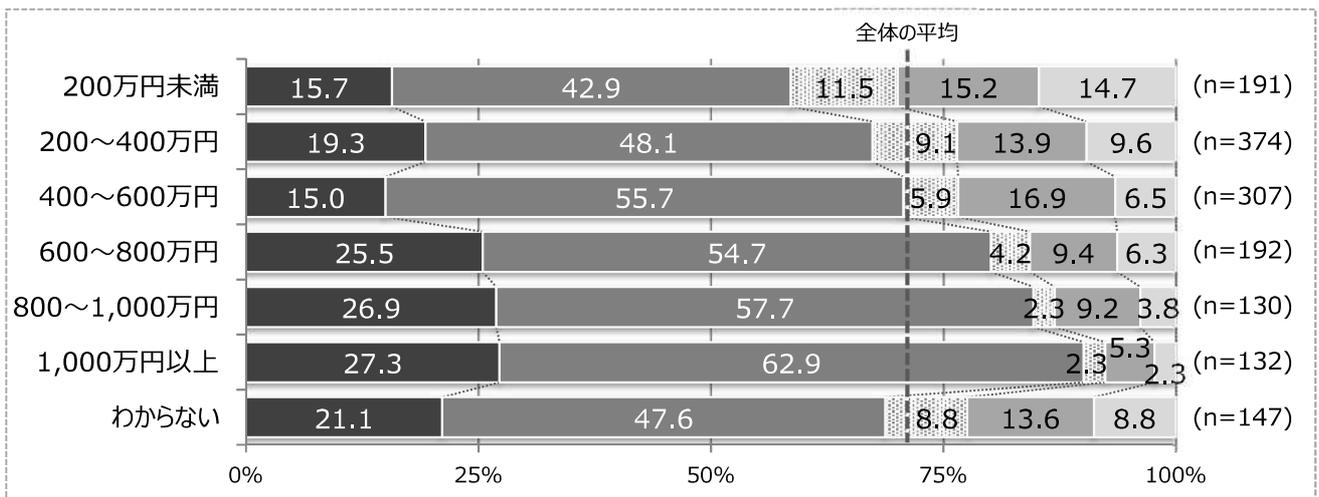
職業別(「その他」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(72.1%)と比較すると、「学生」(81.6%)、「無職」(75.2%)、「正規雇用者」(72.2%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「その他就業者」(66.4%)、「非正規雇用者」(67.4%)では平均を下回った。

住宅構成とのクロス集計 n=1,518



住宅別(「その他」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(72.1%)と比較すると、「社宅・寮など」(80.0%)、「持ち家(一戸建)」(76.4%)で平均を上回った。一方で「民営・公営の賃貸住宅」(56.0%)では平均を大きく下回り、「持ち家(マンション)」(67.8%)でも平均を下回った。

世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,473

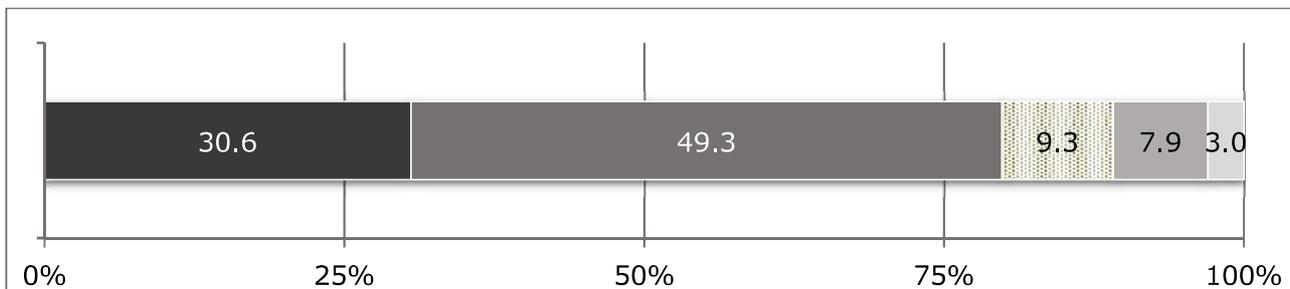


世帯収入別(「わからない」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(72.1%)と比較すると、「1,000 万円以上」(90.2%)、「800 万円以上~1,000 万円未満」(84.6%)が平均を大きく上回り、「600 万円以上~800 万円未満」(80.2%)でも平均を上回った。一方で「200 万円未満」(58.6%)では平均を大きく下回り、「200 万円以上~400 万円未満」(67.4%)、「400 万円以上~600 万円未満」(70.7%)でも平均を下回った。

2 幸福感

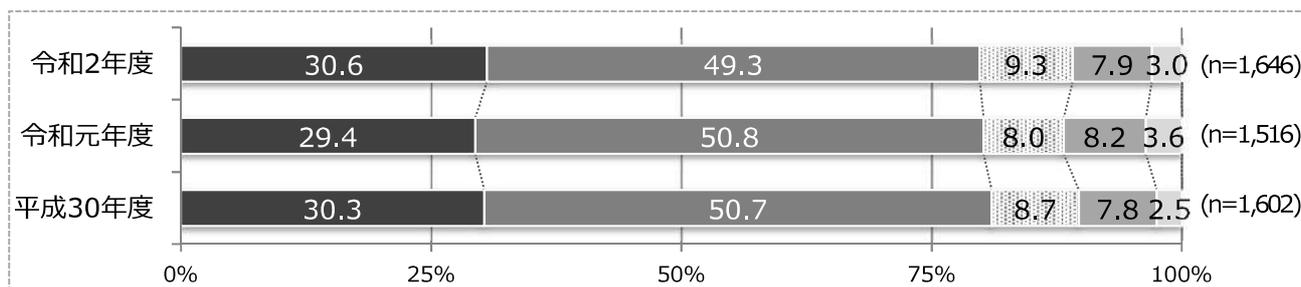
設問 2 現在、あなたは幸せだと感じますか。 n=1,646

■ 幸せだと感じる ■ どちらかといえば幸せだと感じる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば幸せでないと感じる ■ 不幸せだと感じる



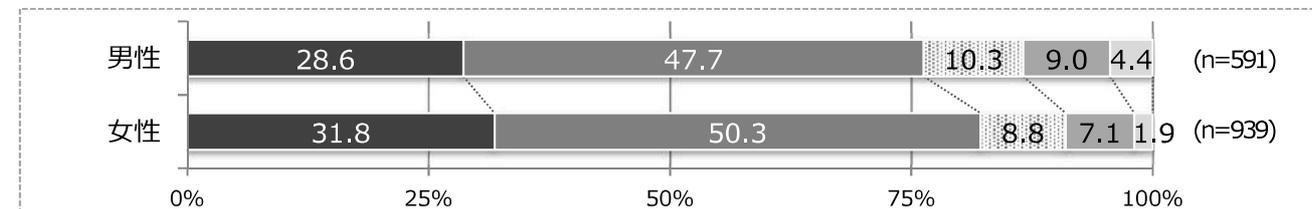
幸福感については、「幸せだと感じる」(30.6%)、「どちらかといえば幸せだと感じる」(49.3%)と回答した割合の合計が 79.9%となった。一方で「不幸せだと感じる」(3.0%)、「どちらかといえば幸せでないと感じる」(7.9%)と回答した割合の合計は 10.9%となった。

平成 30 年度、令和元年度調査結果との比較



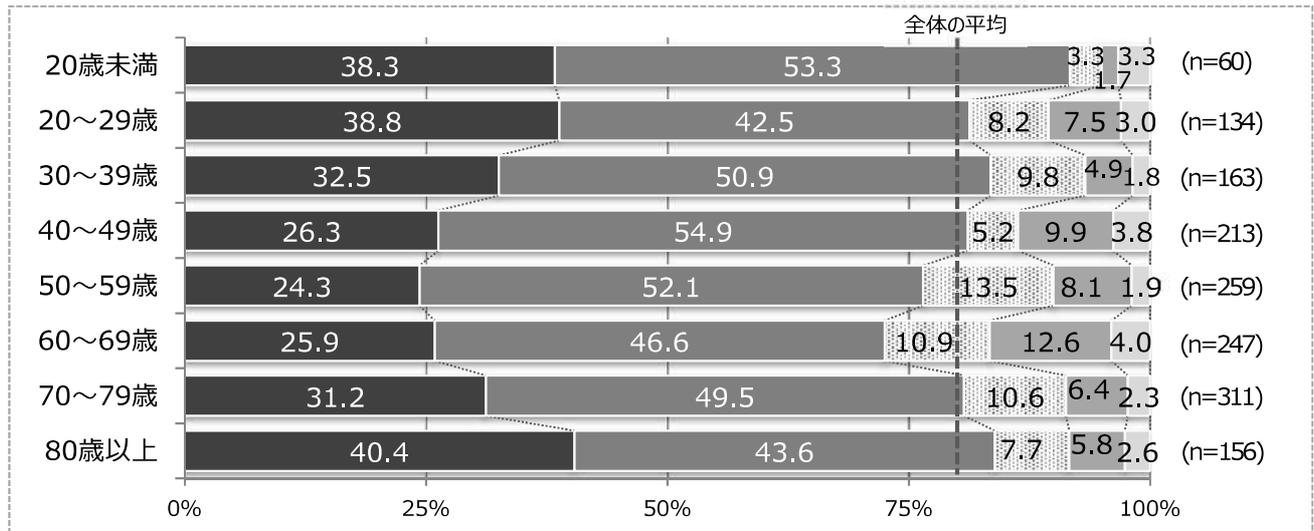
過去の調査結果と比較すると、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計(79.9%)は、平成 30 年度(81.0%)、令和元年度(80.2%)より減少した。

男女別構成とのクロス集計 n=1,530



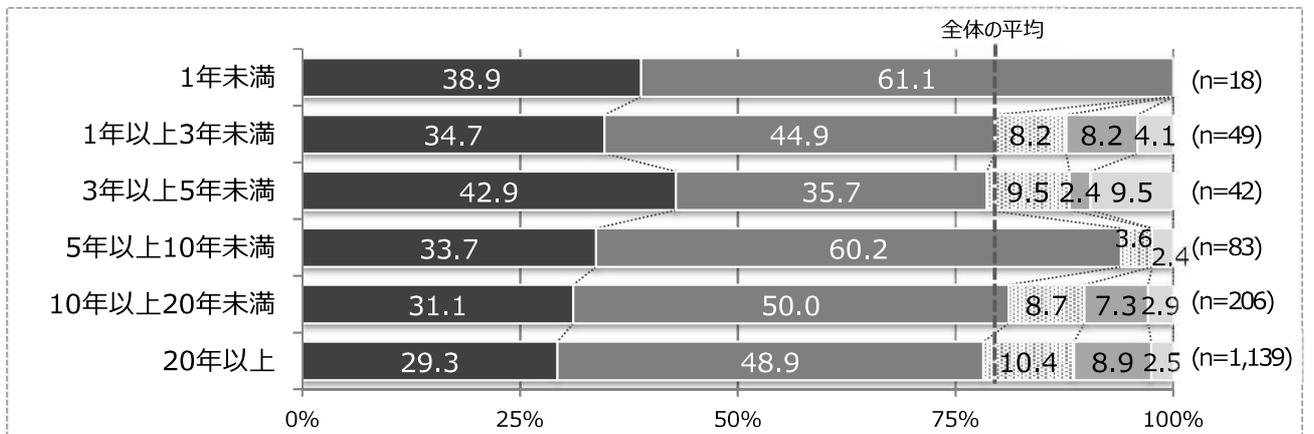
男女別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(82.1%)が「男性」(76.3%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,543



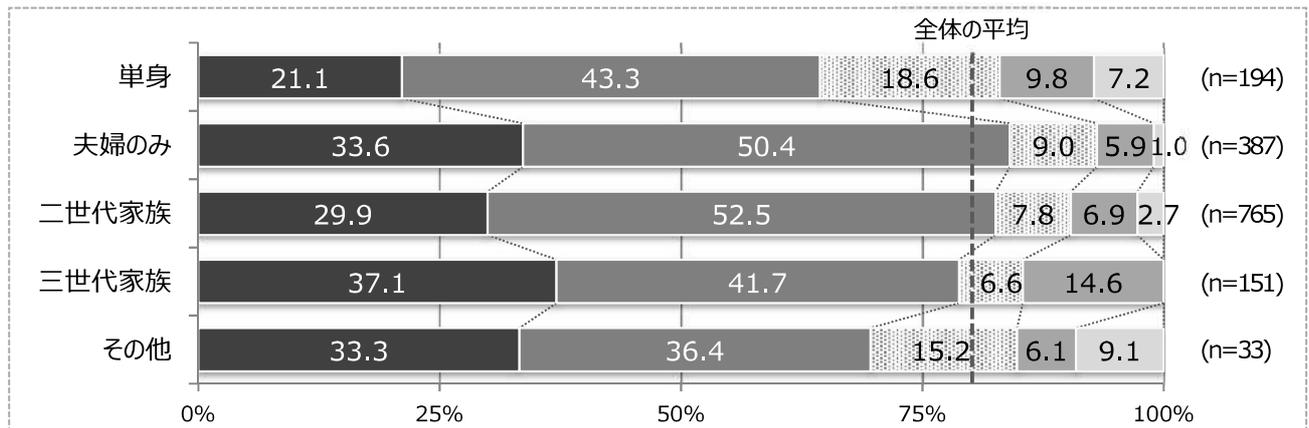
年齢階層別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(79.9%)と比較すると、「20歳未満」(91.6%)が平均を大きく上回り、「80歳以上」(84.0%)、「30～39歳」(83.4%)、「20～29歳」(81.3%)、「40～49歳」(81.2%)、「70～79歳」(80.7%)でも平均を上回る、または近似した値となった。一方で「60～69歳」(72.5%)、「50～59歳」(76.4%)では平均を下回った。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,537



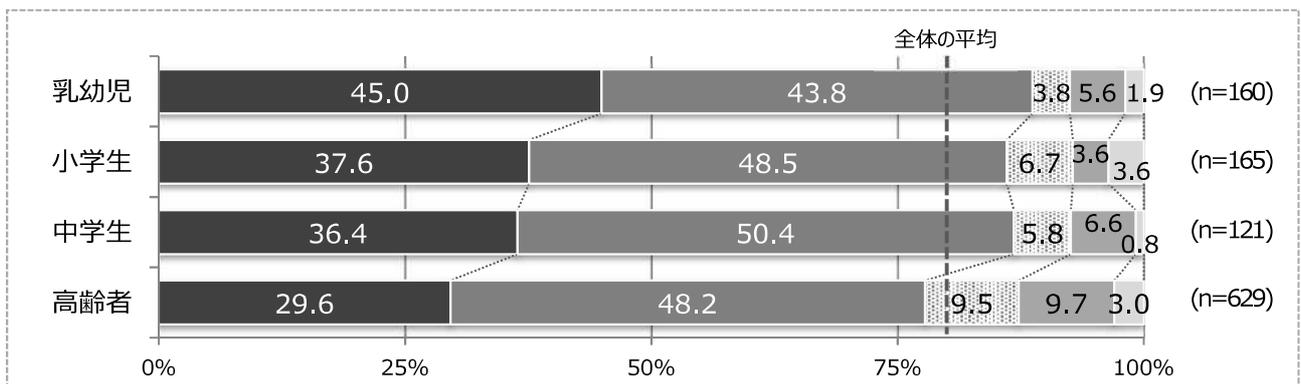
居住年数別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(79.9%)と比較すると、「1年未満」(100%)、「5年以上10年未満」(93.9%)が平均を大きく上回り、「10年以上20年未満」(81.1%)でも平均を上回った。一方で「20年以上」(78.2%)、「3年以上5年未満」(78.6%)、「1年以上3年未満」(79.6%)では平均を下回る、または近似した値となった。

家族構成とのクロス集計 n=1,530



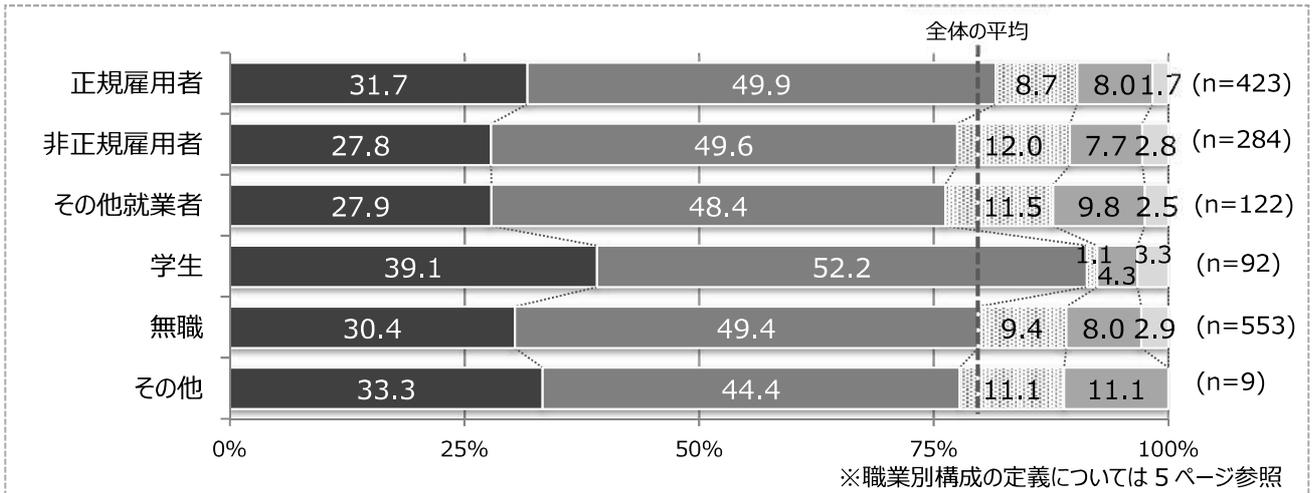
同居家族別(「その他」を除く)に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(79.9%)と比較すると、「夫婦のみ」(84.0%)、「二世世代家族」(82.4%)が平均を上回った。一方で「単身」(64.4%)では平均を大きく下回り、「三世世代家族」(78.8%)でも平均を下回った。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



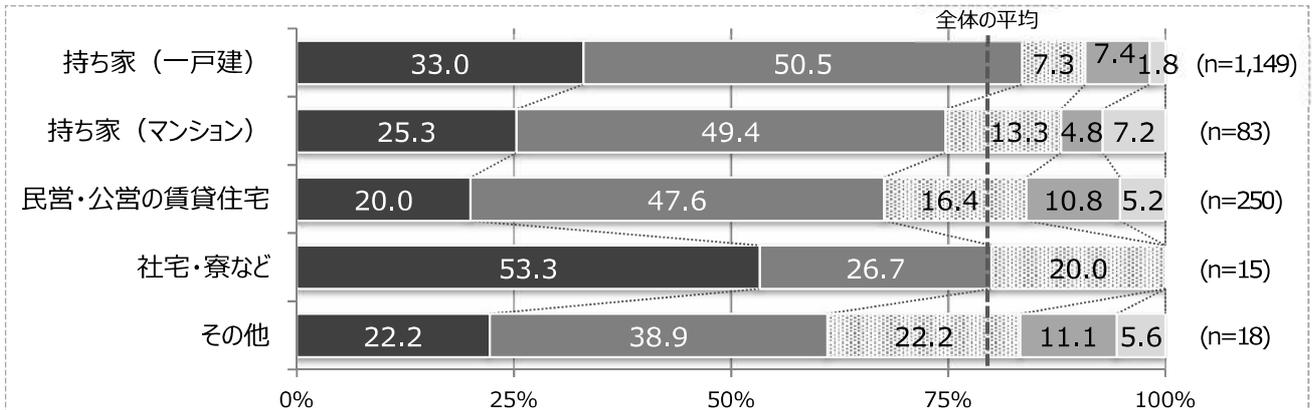
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(79.9%)と比較すると、「乳幼児」のいる世帯(88.8%)、「中学生」のいる世帯(86.8%)、「小学生」のいる世帯(86.1%)が平均を上回った。一方で「高齢者」のいる世帯(77.8%)では平均を下回った。

職業別構成とのクロス集計 n=1,483



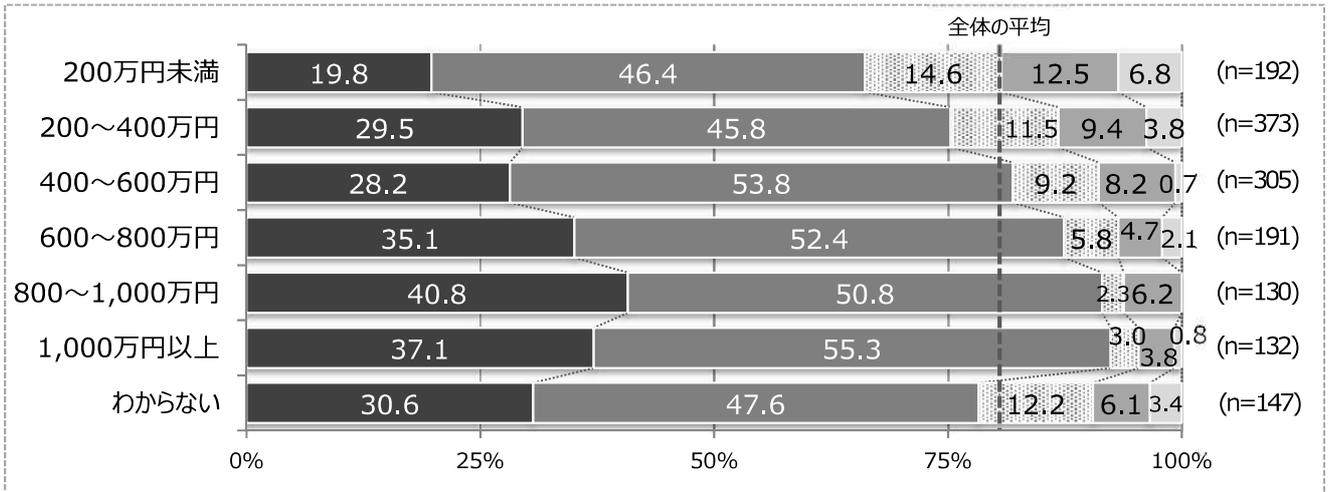
職業別(「その他」を除く)に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(79.9%)と比較すると、「学生」(91.3%)が平均を大きく上回り、「正規雇用者」(81.6%)でも平均を上回った。一方で「その他就業者」(76.3%)、「非正規雇用者」(77.4%)、「無職」(79.8%)では平均を下回る、または近似した値となった。

住宅構成とのクロス集計 n=1,515



住宅別(「その他」を除く)に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(79.9%)と比較すると、「持ち家(一戸建て)」(83.5%)、「社宅・寮など」(80.0%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「民営・公営の賃貸住宅」(67.6%)では平均を大きく下回り、「持ち家(マンション)」(74.7%)でも平均を下回った。

世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,470

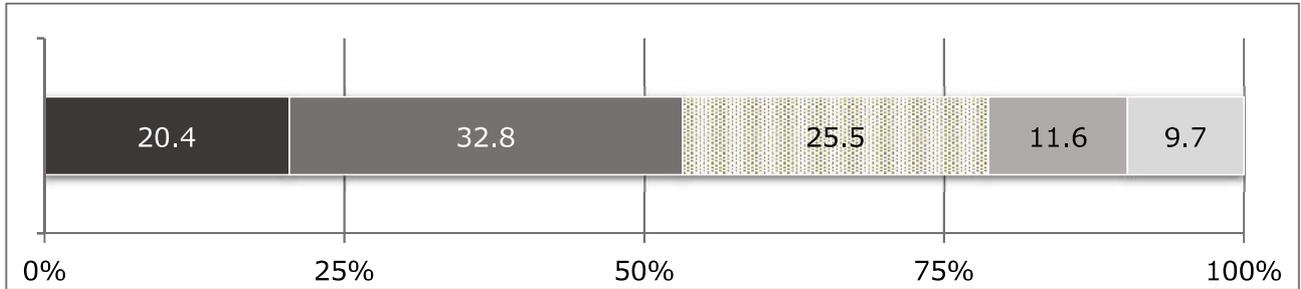


世帯収入別(「わからない」を除く)に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(79.9%)と比較すると、「1,000万円以上」(92.4%)、「800万円以上～1,000万円未満」(91.6%)が平均を大きく上回り、「600万円以上～800万円未満」(87.5%)、「400万円以上～600万円未満」(82.0%)でも平均を上回った。一方で「200万円未満」(66.2%)では平均を大きく下回り、「200万円以上～400万円未満」(75.3%)でも平均を下回った。

3 岐阜市民としての誇り

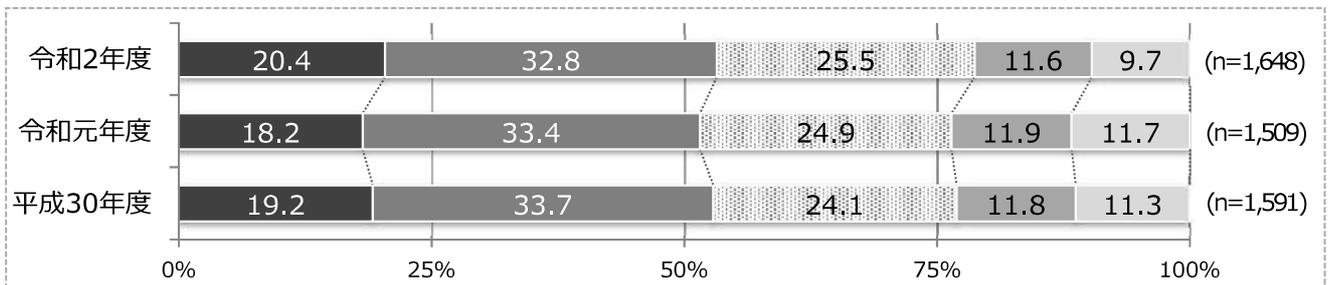
設問 3 岐阜市民であることに誇りを感じますか。 n=1,648

■ 感じる ■ どちらかといえば感じる ▨ どちらともいえない ■ どちらかといえば感じない ■ 感じない



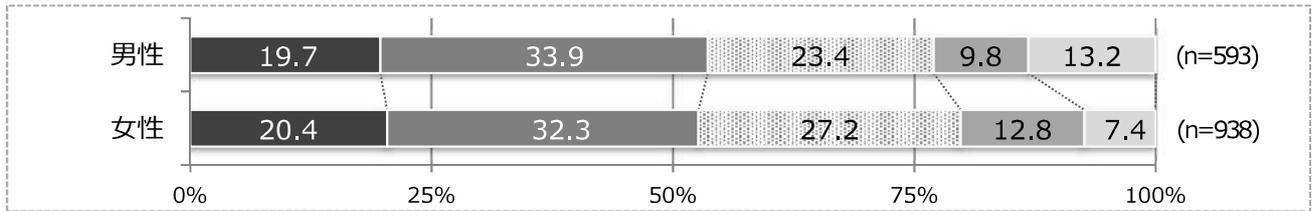
岐阜市民としての誇りについては、「感じる」(20.4%)、「どちらかといえば感じる」(32.8%)と回答した割合の合計が 53.2%となった。一方で「感じない」(9.7%)、「どちらかといえば感じない」(11.6%)と回答した割合の合計は 21.3%となった。

平成 30 年度、令和元年度調査結果との比較



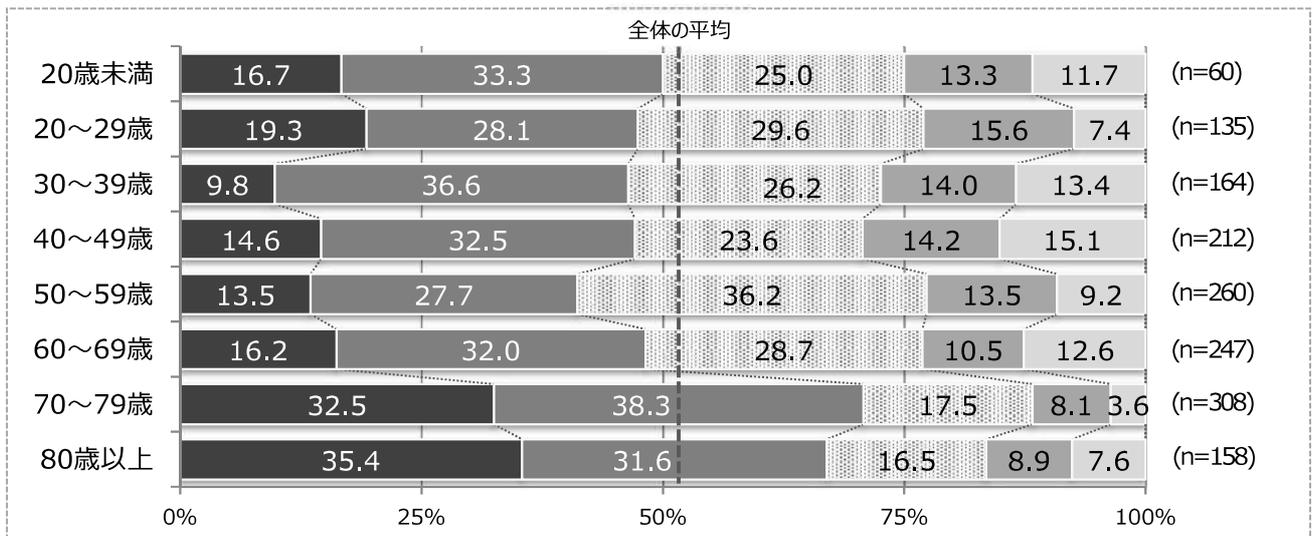
過去の調査結果と比較すると、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計 (53.2%) は、平成 30 年度 (52.9%)、令和元年度 (51.6%) より増加した。

男女別構成とのクロス集計 n=1,531



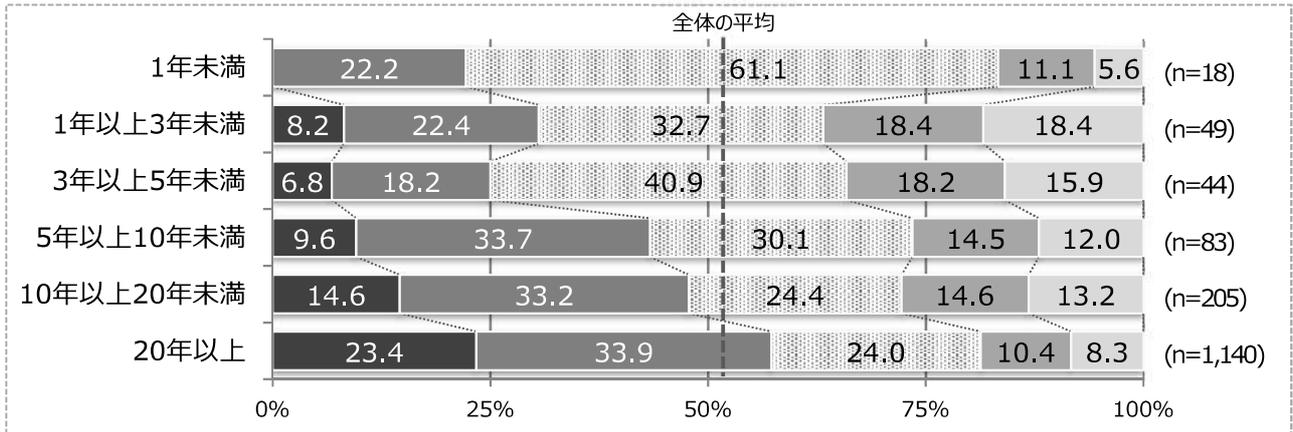
男女別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を比較すると、「男性」(53.6%)が「女性」(52.7%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,544



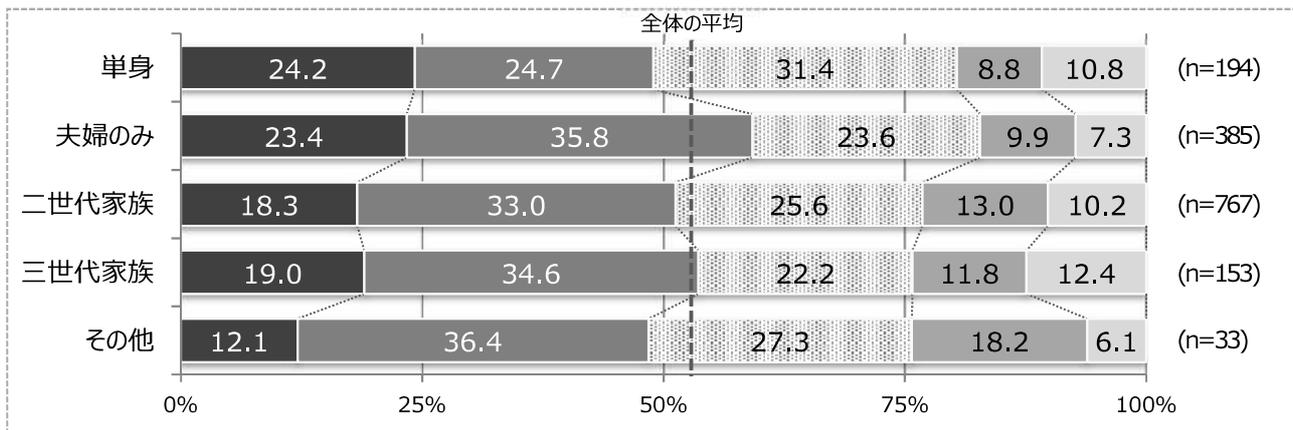
年齢階層別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(53.2%)と比較すると、「70～79歳」(70.8%)、「80歳以上」(67.0%)が平均を大きく上回った。一方で「50～59歳」(41.2%)では平均を大きく下回り、「30～39歳」(46.4%)、「40～49歳」(47.1%)、「20～29歳」(47.4%)、「60～69歳」(48.2%)、「20歳未満」(50.0%)でも平均を下回った。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,539



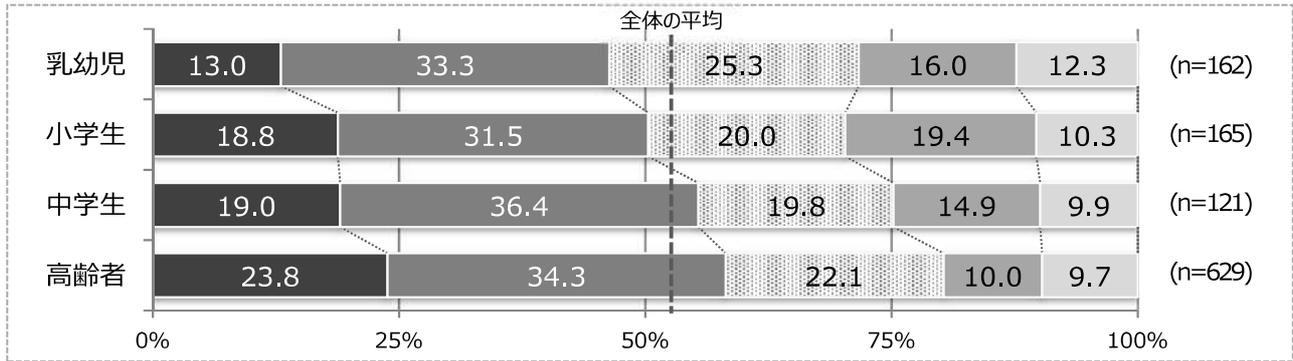
居住年数別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均 (53.2%) と比較すると、「20年以上」(57.3%) が平均を上回った。一方で「1年未満」(22.2%)、「3年以上5年未満」(25.0%)、「1年以上3年未満」(30.6%) では平均を大きく下回り、「5年以上10年未満」(43.3%)、「10年以上20年未満」(47.8%) でも平均を下回った。

家族構成とのクロス集計 n=1,532



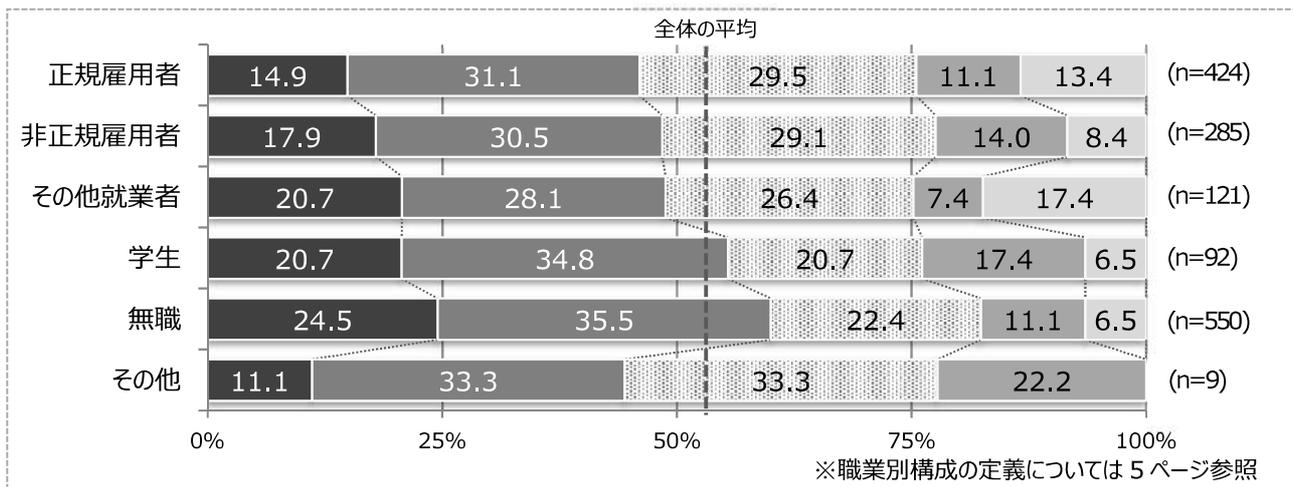
同居家族別(「その他」を除く)に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均 (53.2%) と比較すると、「夫婦のみ」(59.2%)、「三世世代家族」(53.6%) が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「単身」(48.9%)、「二世世代家族」(51.3%) では平均を下回った。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



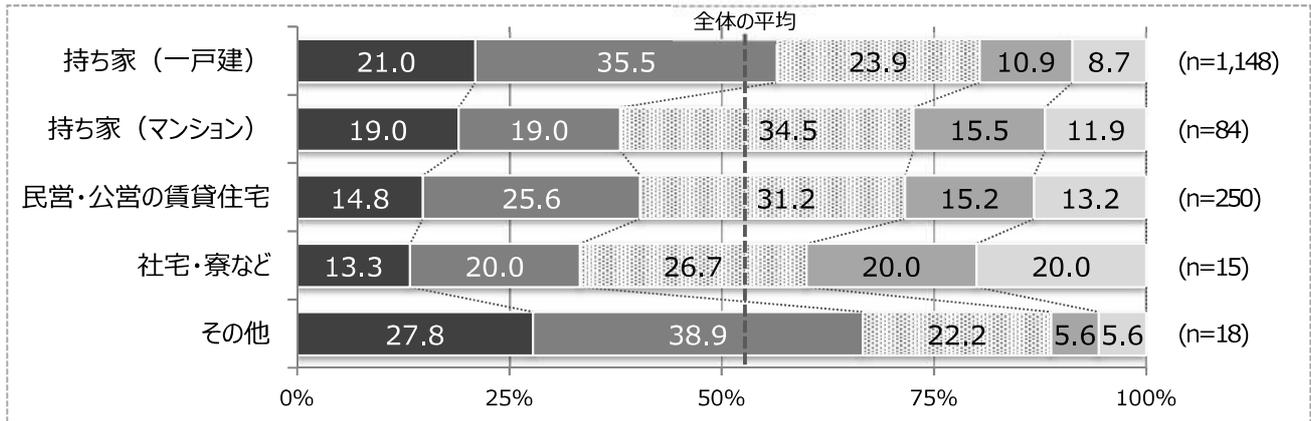
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(53.2%)と比較すると、「高齢者」のいる世帯(58.1%)、「中学生」のいる世帯(55.4%)が平均を上回った。一方で「乳幼児」のいる世帯(46.3%)、「小学生」のいる世帯(50.3%)では平均を下回った。

職業別構成とのクロス集計 n=1,481



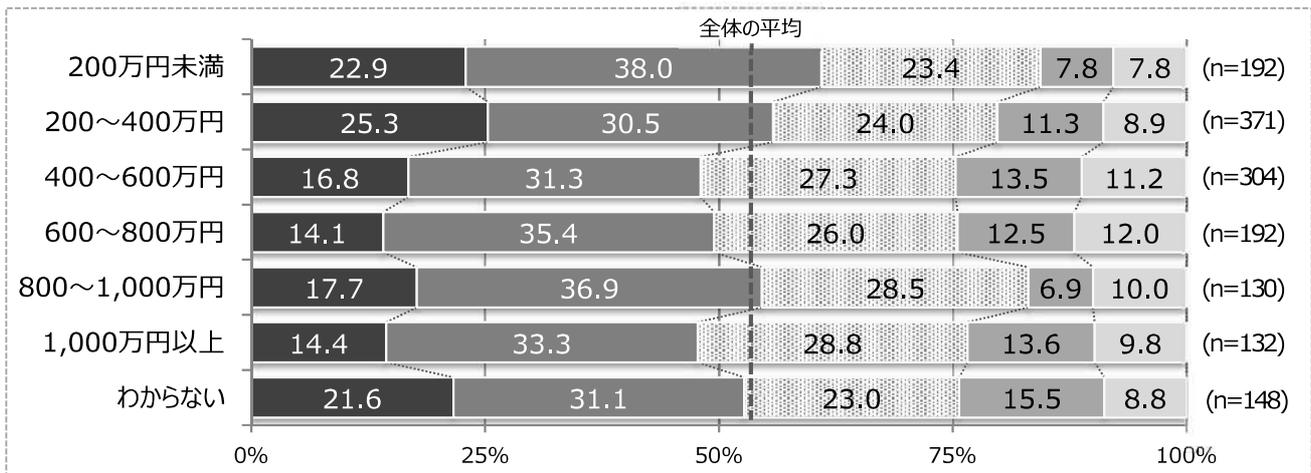
職業別(「その他」を除く)に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(53.2%)と比較すると、「無職」(60.0%)、「学生」(55.5%)が平均を上回った。一方で、「正規雇用者」(46.0%)、「非正規雇用者」(48.4%)、「その他就業者」(48.8%)では平均を下回った。

住宅構成とのクロス集計 n=1,515



住宅別（「その他」を除く）に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均（53.2%）と比較すると、「持ち家（一戸建）」（56.5%）が平均を上回った。一方で「社宅・寮など」（33.3%）、「持ち家（マンション）」（38.0%）、「民営・公営の賃貸住宅」（40.4%）が平均を大きく下回った。

世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,469

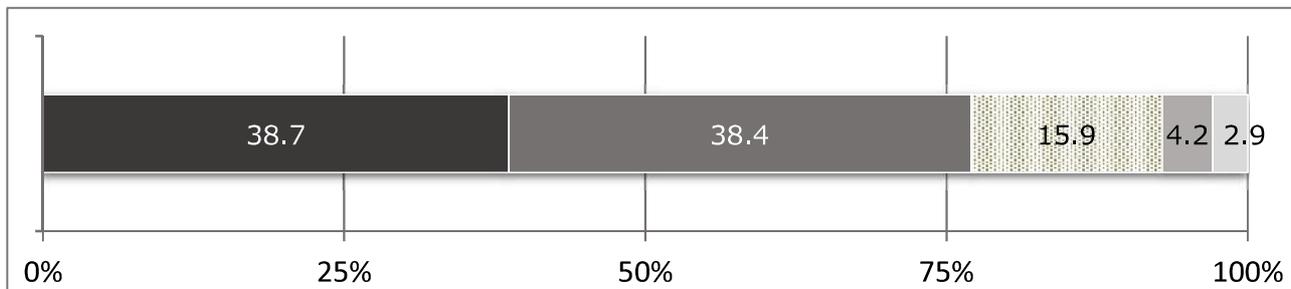


世帯収入別（「わからない」を除く）に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均（53.2%）と比較すると、「200万円未満」（60.9%）、「200万円以上～400万円未満」（55.8%）、「800万円以上～1,000万円未満」（54.6%）が平均を上回った。一方で「1,000万円以上」（47.7%）、「400万円以上～600万円未満」（48.1%）、「600万円以上～800万円未満」（49.5%）では平均を下回った。

4 定住意向

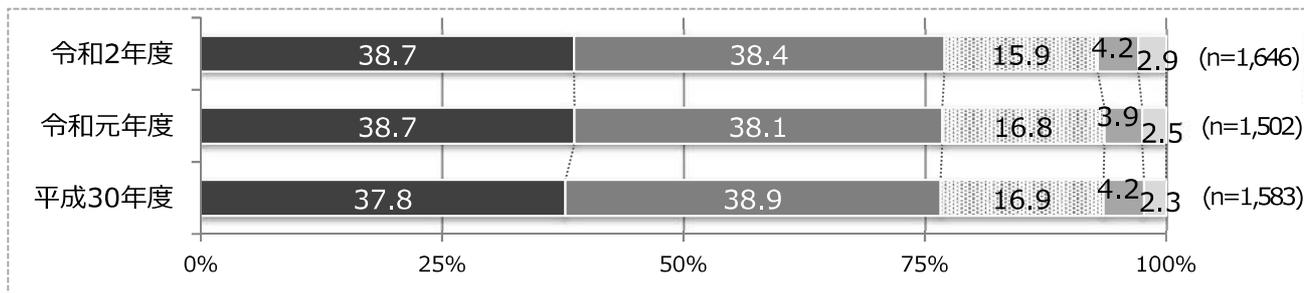
設問 43 このまちに住み続けたいと思いますか。 n=1,646

■ 住み続けたい ■ どちらかといえば住み続けたい ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば住み続けたくない ■ 住み続けたくない



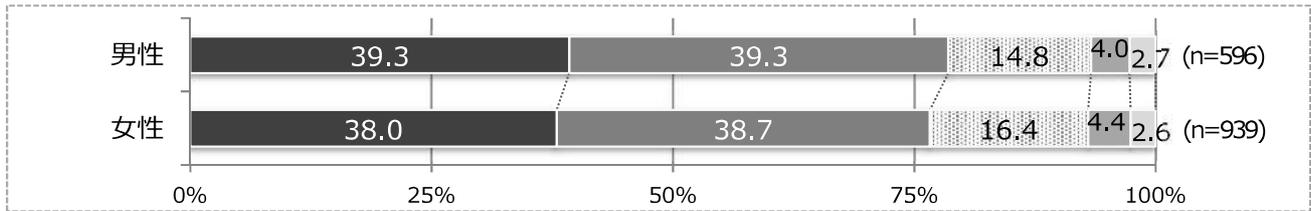
岐阜市への定住意向については、「住み続けたい」(38.7%)、「どちらかといえば住み続けたい」(38.4%)と回答した割合の合計が 77.1%となった。一方で「住み続けたくない」(2.9%)、「どちらかといえば住み続けたくない」(4.2%)と回答した割合の合計は 7.1%となった。

平成 30 年度、令和元年度調査結果との比較



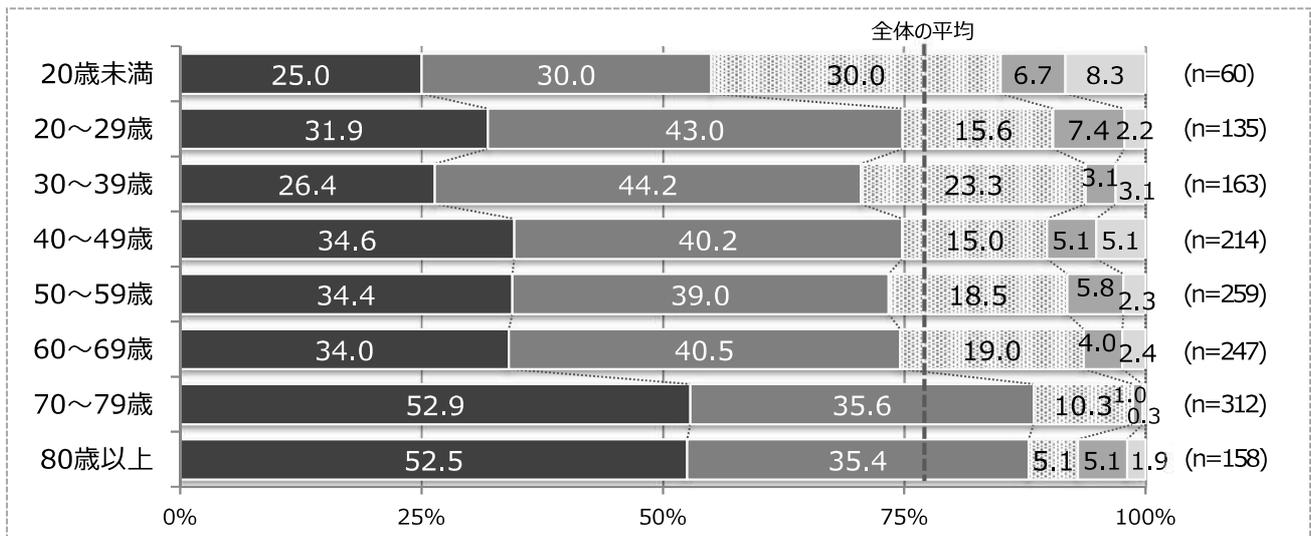
過去の調査結果と比較すると、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計(77.1%)は、平成 30 年度(76.7%)、令和元年度(76.8%)より増加した。

男女別構成とのクロス集計 n=1,535



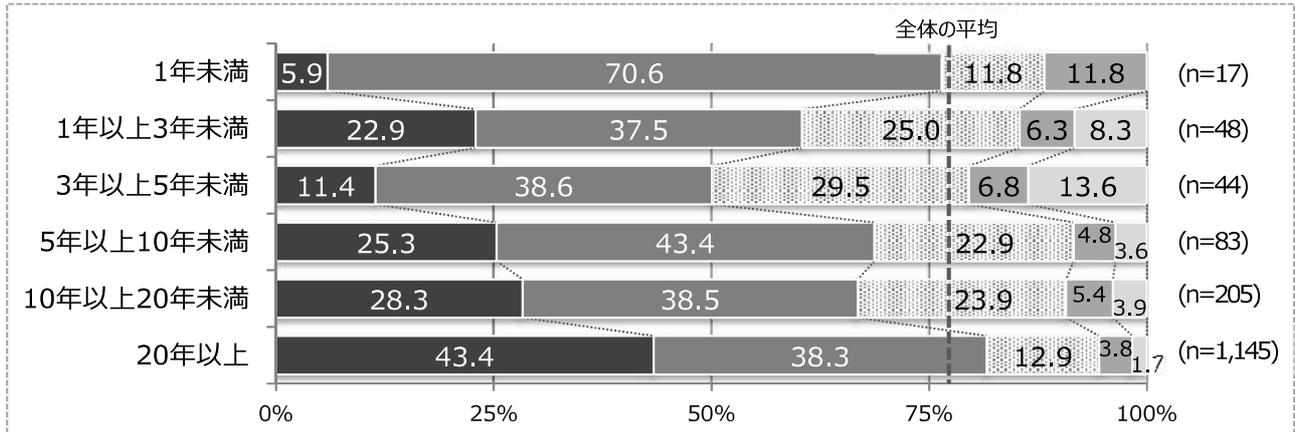
男女別に、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と回答した割合の合計を比較すると、「男性」(78.6%)が「女性」(76.7%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,548



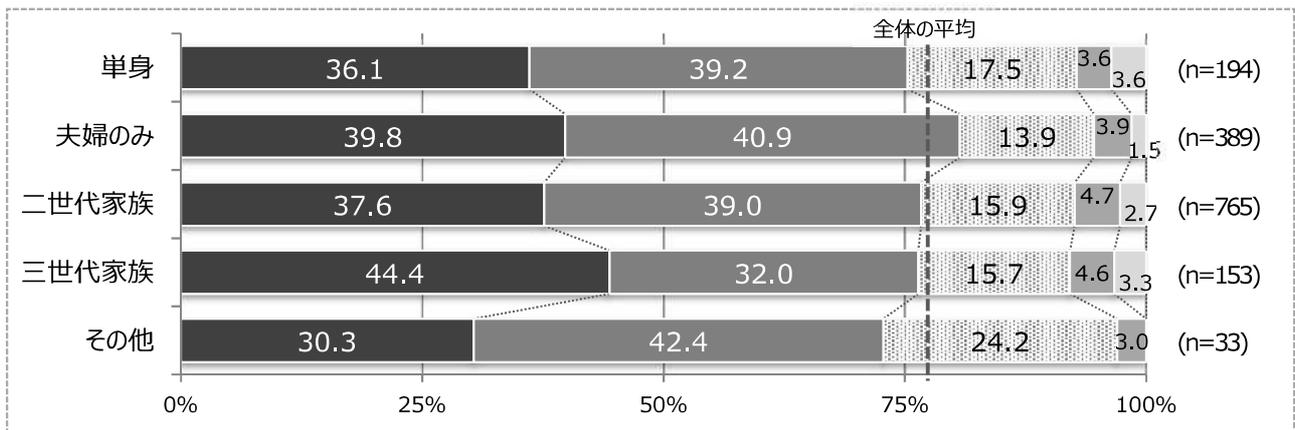
年齢階層別に、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と回答した割合の合計を全体の平均(77.1%)と比較すると、「70～79歳」(88.5%)、「80歳以上」(87.9%)が平均を大きく上回った。一方で「20歳未満」(55.0%)では平均を大きく下回り、「30～39歳」(70.6%)、「50～59歳」(73.4%)、「60～69歳」(74.5%)、「40～49歳」(74.8%)、「20～29歳」(74.9%)でも平均を下回った。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,542



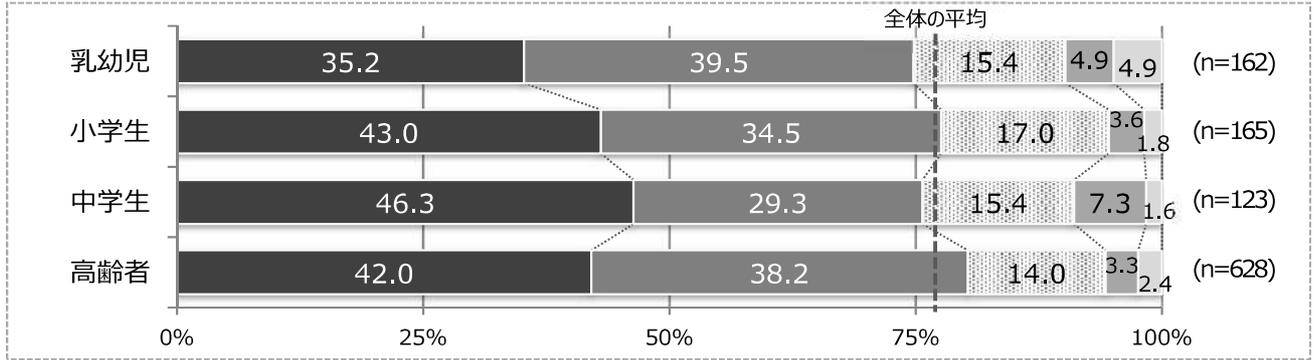
居住年数別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(77.1%)と比較すると、「20年以上」(81.7%)が平均を上回った。一方で「3年以上5年未満」(50.0%)、「1年以上3年未満」(60.4%)、「10年以上20年未満」(66.8%)では平均を大きく下回り、「5年以上10年未満」(68.7%)、「1年未満」(76.5%)でも平均を下回る、または近似した値となった。

家族構成とのクロス集計 n=1,534



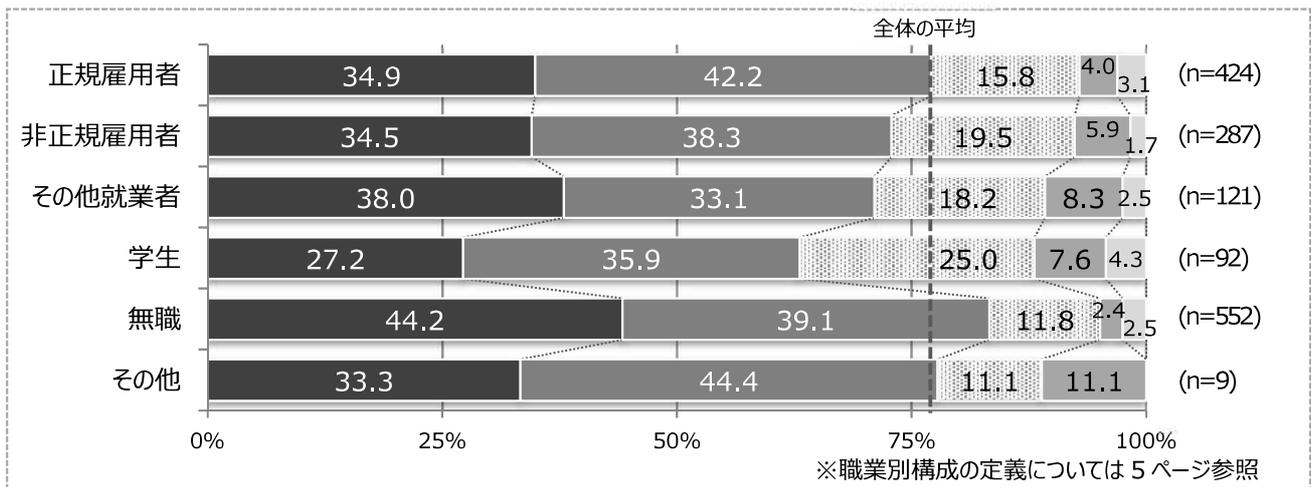
同居家族別(「その他」を除く)に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(77.1%)と比較すると、「夫婦のみ」(80.7%)が平均を上回った。一方で「単身」(75.3%)、「三世世代家族」(76.4%)、「二世世代家族」(76.6%)では平均を下回る、または近似した値となった。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



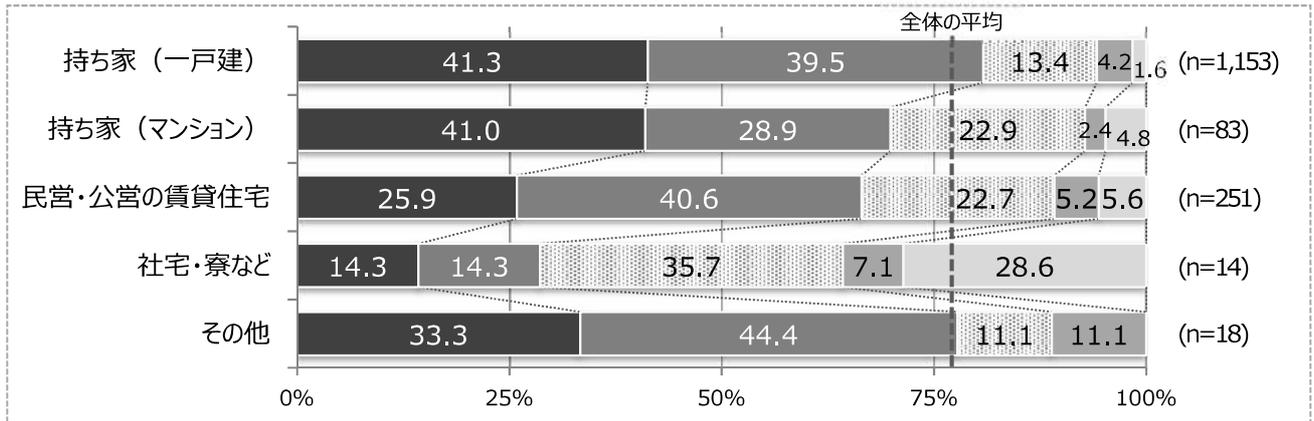
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(77.1%)と比較すると、「高齢者」のいる世帯(80.2%)、「小学生」のいる世帯(77.5%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「乳幼児」がいる世帯(74.7%)、「中学生」がいる世帯(75.6%)では平均を下回った。

職業別構成とのクロス集計 n=1,485



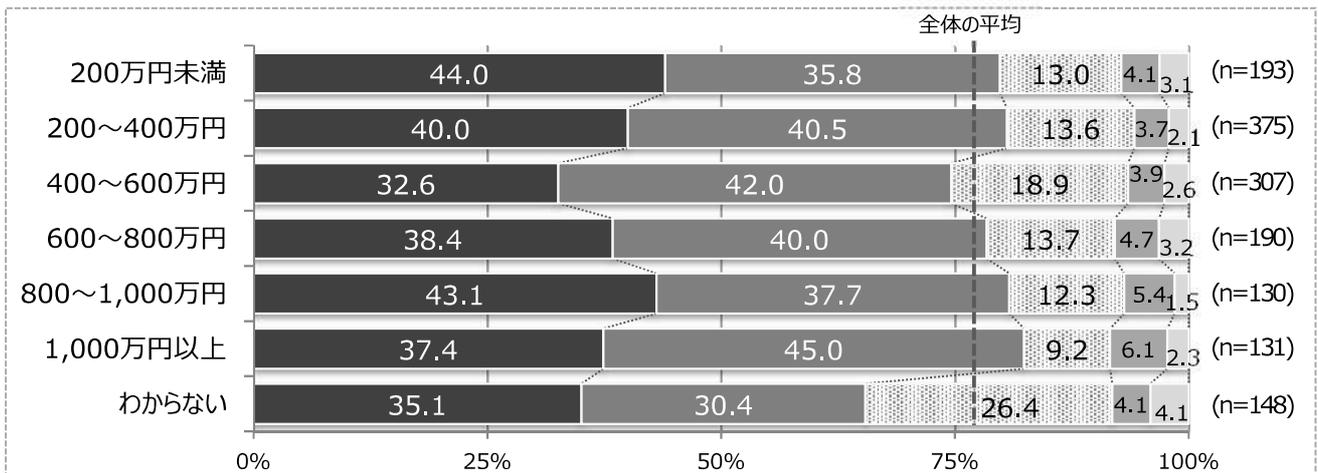
職業別(「その他」を除く)に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(77.1%)と比較すると、「無職」(83.3%)が平均を上回った。一方で「学生」(63.1%)では平均を大きく下回り、「その他就業者」(71.1%)、「非正規雇用者」(72.8%)でも平均を下回った。さらに、「正規雇用者」(77.1%)では平均と同じ値となった。

住宅構成とのクロス集計 n=1,519



住宅別(「その他」を除く)に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(77.1%)と比較すると、「持ち家(一戸建)」(80.8%)が平均を上回った。一方で「社宅・寮など」(28.6%)、「民営・公営の賃貸住宅」(66.5%)では平均を大きく下回り、「持ち家(マンション)」(69.9%)でも平均を下回った。

世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,474



世帯収入別(「わからない」を除く)に「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(77.1%)と比較すると、「1,000万円以上」(82.4%)、「800万円以上~1,000万円未満」(80.8%)、「200万円以上~400万円未満」(80.5%)、「200万円未満」(79.8%)、「600万円以上~800万円未満」(78.4%)が平均を上回った。一方で「400万円以上~600万円未満」(74.6%)では平均を下回った。